

TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年3月18日

我孫子市小中一貫教育だより

第373号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「ちいき安全マップをつくろう」

湖北小学校の4年生で Abi-ふるさととの授業が展開されました。今日の学習のテーマは、「守ろう！我孫子市・湖北のみんなを」です。

子ども達は、これまでに社会科「風水害から暮らしを守る」の単元で「自助」に焦点を当て、災害に対する意識を高めてきました。今日は、「ちいき安全マップをつくろう」の単元で、これまで調べてきたことを基に情報交換を行い、風水害の被害から我孫子の人たちを守るにはどのようにすればよいかについて考えます。

まず、グループごとに発表をしました。発表が終わると、自分が考えたことや疑問に思ったことを質問し、意見交換をしていきます。その中で、備蓄倉庫や避難所、学区の中にある危険箇所について知るだけでなく、深く考えるにはより詳しい情報が必要であると考えました。「地域の方や我孫子市の市民安全課の人に話を聞きたい」「何をどのように質問すればよいだろうか」と、話し合いが深まります。6グループ中3グループの発表しか終わらない程に、様々な意見や考えが出されました。

必要な情報を積極的に集め、自分たちができること、地域のためにできることを真剣に考える姿から、今後も学びが積み重なっていくことが感じられる授業でした。



Abi-ふるさと「地域貢献学習 ～湖北地区のハザードマップを作ろう～」

湖北中学校の1年生で Abi-ふるさととの学習として、地域貢献学習「湖北地区のハザードマップを作ろう」の授業が行われました。この学習では、林間学校に向けた震災学習を通して、防災への意識を身に付けることをねらいとしています。

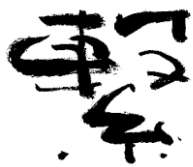
生徒たちは、ハザードマップを作成するために、約半年間をかけて学区内の危険箇所を調査しました。自分たちの足で現地調査を行うことで、これまでは気付かなかった危険箇所に気づき、主体的に地域の安全について考え、調べることができました。

学習の始めに、作成するハザードマップは「自分達だけでなく、地域の方々の参考になるものにしよう」という目標を掲げていたこともあり、完成したハザードマップには、災害が生じたときの避難ルートや避難場所なども分かりやすく示されました。

今日は、自分たちが担当した調査場所を全体に共有をする時間でした。自分たちが調査した場所について丁寧に発表し合うことで、地域についての理解を深めることができました。

これからも継続して取り組んでいく震災学習を通して、防災への意識が身に付き、より高まっていくことが期待できる授業となりました。作成したハザードマップは、校内に掲示されています。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年3月18日

我孫子市小中一貫教育だより

第374号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「自然災害を防ぐ」

我孫子第二小学校の5年生で Abi-ふるさとの授業が行われました。社会科「私たちの生活と環境」の単元の始めとして、「風水害に備えるにはどんな対策があるのだろうか」の学習課題に取り組みました。

5年生の社会科ではこれまでに、日本の国土は自然が豊かである反面、台風や洪水などの自然災害が多いことを学習しました。その対策として、各地で「ハザードマップの住民への配付」「放水路や砂防ダム建設」「警報をメディアで知らせる」などが行われていることを理解しました。次に、過去には我孫子市も洪水被害が多かったことが写真で提示され、「手賀沼や利根川に挟まれた地形だからかな？」と、地理的な視点から原因を考えると共に、大きな被害があったことに驚く児童がたくさんいました。我孫子市の対策を調べると、「今年2月にハザードマップが新しくなった」「避難所開設の訓練が行われている」など、公助が身近なところでも行われていることを確認しました。

安全・防災教育は、小学校高学年から中学校にかけて、自助や共助の取り組みから発展していきます。自治体の取り組みについて調べ、その実際や改善について議論したり、構想したりする学習を通して、より安全なまちづくりに参画する資質・能力を養っていきます。中学校へのつながりを意識し、「安全・防災」教育の充実が期待できる授業でした。



Abi-キャリア「SDGsについて」

湖北台東小学校5年生が総合的な学習の時間に Abi-キャリアの一環として「SDGs」をテーマに調べ学習と発表会を行いました。発表会には4年生も参加し、発表を聴きながら「SDGs」について学びました。

発表は、プレゼンテーションソフトを使い行われました。図や写真、アニメーション機能を用いたり、クイズを交えたりするなど、調べたことや自分の考えを効果的に発表する工夫が見られました。発表では、「SDGs 17の目標」から、5番「ジェンダー平等」を選んだ子は「性別によって被る被害」、12番「作る責任、使う責任」を選んだ子は「ゴミを資源に」というようにターゲットを絞り、なぜそれに興味を持ったのかと、世界で起こっている問題を具体的に説明しました。その中で、なぜ「SDGs」の目標の一つになっているのか、目標達成に向けて企業や社会が努力していること、そして自分たちでできることについても発表しました。発表後、4年生からは「SDGs」への興味が深まったことが分かる感想発表がありました。

授業の振り返りでは、先生から実際に行動化することを促す助言もあり、総合学習や社会科の学習で大切な目的の一つである「学んだことをもとにした社会参加・参画」につながると感じた授業でした。

